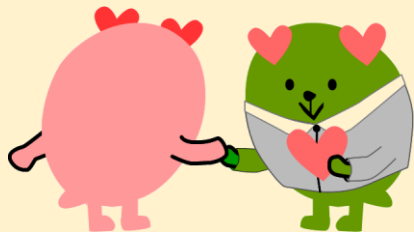


# 小平市第四期地域保健福祉計画に基づく CSW配置状況の実際について



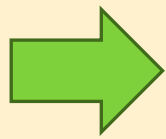
令和4年1月28日（金）9:30～11:30  
社会福祉法人 小平市社会福祉協議会  
地域福祉推進課 こだいら生活相談支援センター  
CSW（コミュニティソーシャルワーカー） 上原 哲子

# ご報告の前に ～社協について～

**社会福祉協議会（社協）は、「民間の福祉団体」であり、市などの行政機関ではありません！**

- ① 社会福祉協議会は、地域福祉活動を推進することを目的とした民間の組織（社会福祉法人）
- ② 全国・各都道府県・各市町村で組織されており、
- ③ 地域に暮らす皆様のほか、民生委員児童委員、社会福祉法人・福祉施設等の社会福祉関係者、保健・医療・教育など関係機関の参加・協力のもと、
- ④ 地域の人々が住み慣れたまちで安心して生活するため、様々な活動を行っている団体です。

社会福祉法第109条（市区町村社協）規定



**民間団体としての柔軟性を生かして福祉のまちづくりを推進している団体が社協です。**

# こだいら生活相談支援センターとは

## 生活にお困りの方の「よろず相談所」として 「生活全般にわたる包括的な支援」に対応する機関

生活のことはもちろん、仕事や病気のこと、経済的なことなどあらゆる悩みや相談に対し、課題を整理しながら、一緒に考え、現状を改善する方法や手段を相談者と共に見つけ、各種制度やハローワークなどの関係機関、地域の社会資源や活動を活用しながら、相談者の自立を応援します。

「生活困窮者自立支援法」に基づき、  
小平市から社会福祉協議会が事業受託し実施。

福祉事務所設置自治体に必置  
小平市では、社会福祉協議会が受託して運営

# こだいら生活相談支援センターのあゆみ

〈令和3年度現在の体制〉総員10名

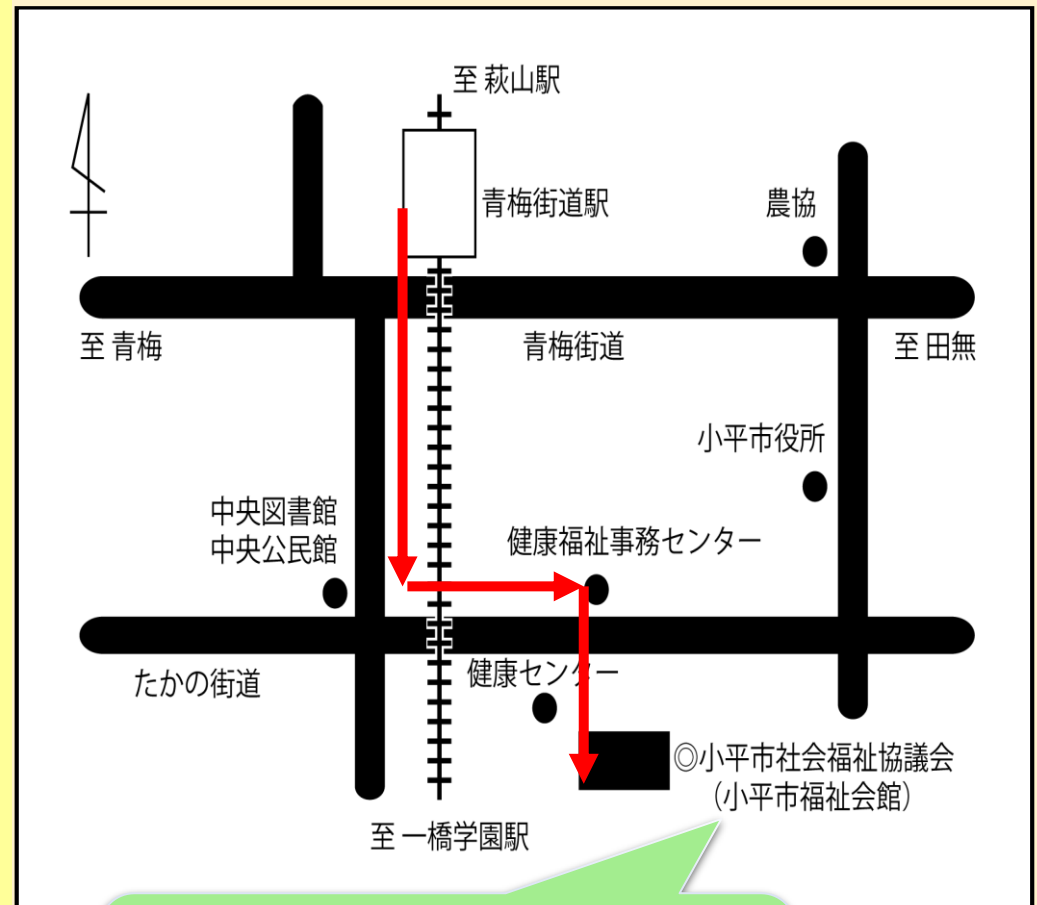
相談係:主任相談支援員1(センター長兼務)、相談支援員4

地域支援係:CSW 兼 就労準備支援員 兼 アウトリーチ支援員 5

◇平成27年4月、生活困窮者自立支援法施行に伴い小平市から小平市社会福祉協議会（以下、社協）が委託を受け開所。

◆平成29年度「ボランティアセンター」内にてCSW（コミュニティソーシャルワーカー）が活動開始後、平成30年度にセンター内に配置転換。

◆令和3年4月から、CSWが市の新規事業として、市内全域、包括の圏域ごとに5人配置され、センターの機能拡充を実施。



アクセス:小平市福祉会館  
青梅街道駅徒歩7分



# コミュニティソーシャルワーカー (CSW) の主な役割



生活する上での悩みや不安など、どこに相談したらいいかわからないことを一緒に考えて支援を行う、地域の身近な相談員です。また、個別の相談から地域の課題を見つけ、地域の皆さんや関係機関と一緒に考えながら、解決に向けて支援する役割なども担っています。

★民生委員児童委員をはじめ、NPOなどボランティア・市民活動団体、自治会、関係機関はもちろん、企業、福祉施設など、さまざまな方と連携して、活動しています！

個別支援※

地域支援

しくみづくり

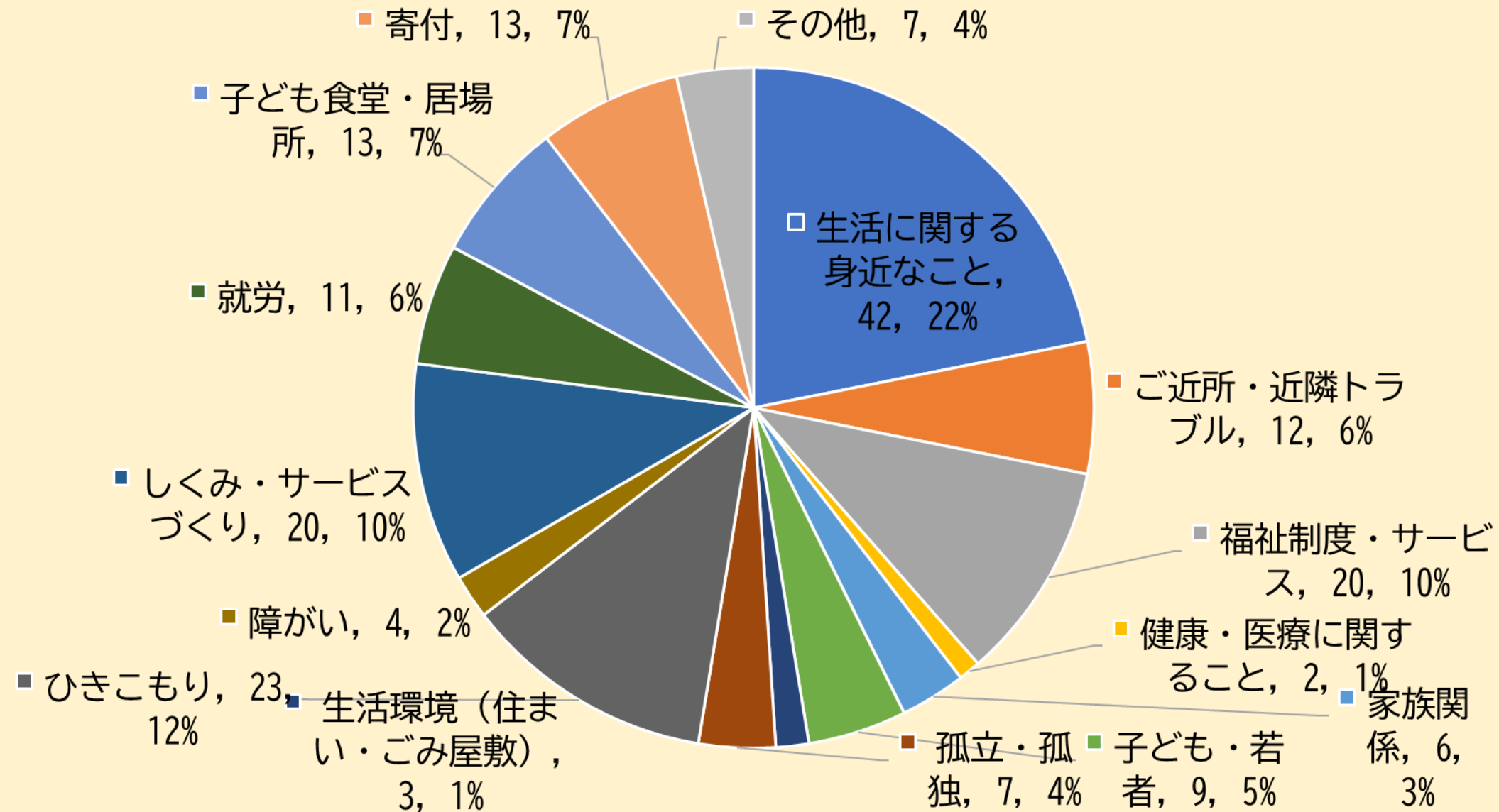
上記三つの役割を担い、5つの圏域に出向いて、住民と協働して問題解決に取り組む小平社協のコミュニティワーカー（専門職）→都内他地域では、「地域福祉コーディネーター」の名称も。

- 仕事や暮らしなど、さまざまな理由で困っている人の「**生活全般にわたる包括的**」な支援
- 分野、年齢別に縦割りだった支援（制度的福祉）を「丸ごとの支援」とし、個人や地域生活の課題に対して「寄り添い解決を目指す」支援（**伴走型支援**）
- 個人の課題を地域の課題として、地域の力で解決していく仕組みを作る支援（**支えあう地域づくり**）  
（子ども食堂やひきこもりの方の居場所など、地域活動の応援・支援）

※ 65歳以上の方の相談支援の中心は地域包括支援センターですが、総合的な対応が求められており、協働しながら対応しています。

# 令和3年12月までにCSWが受けた 新規相談傾向

6



参考：総相談件数747件（新規192件、継続555件）、調整行動10,573件

# 令和3年度CSWに寄せられた相談例

## 個別支援の一例

●80代母と50代無職の息子の2人世帯。母の認知症が進行し、入所。単身生活となった息子だが、医療機関にかかっておらず、手帳も取得していない。庭木が繁茂し、近隣から苦情。

●夫のDVにより小平に避難した母子世帯。離婚が成立していないため、手当等制度が一切使えず。  
第二子に発達障がい判明。

## 地域支援の一例

●大学で調査実施の結果、数割の学生が生活に困窮。アルバイトのシフトが減られ、**食べるものがない等のニーズキャッチ。フードパントリーを継続したい。**

●**地域公益活動**を法人として拡充する方針決定。保育園の特性を生かし、子ども食堂をやりたいがノウハウがない。

## しくみづくりの一例

●家族会はもちろん、さまざまな関係機関等と連携し、**市内全域**のひきこもり当事者のための居場所を立上げたい。

●市内でひきこもり等生きづらさを抱えた方が一歩踏み出すための**社会参加体験のしくみ**を作ってほしい！  
相談したい関係機関の窓口をCSWが、受入先の窓口を企業側が分担。まずは農家から紹介する。

つながりがない＝孤独・孤立  
(家族だけでなく地域や社会からも)

1つの相談には「表面化する課題」と「潜在化している課題」があり、その内容が複合化している（経済面&生活面&家族の関係など）。そこに至る背景は様々であり、制度だけでは網羅できない課題が増加。



# 複合的な個別支援の一例

## (コミュニティワークの実践)

どこかに繋がられないか、どこかと一緒にできないかな・・・



「入院費を滞納している」と来所相談。よくよく聞くと「転倒して入院となったこと。年金では足りず、生活のために消費者金融で借りていた。実は・・・無職でひきこもりの息子がいる」ことを話された。

●息子が原因？と一律に決めつけず、まずはできることを整理。役割分担をして総合的に取り組むことを意識



無料法律相談・債務整理  
病院との調整（本人と同行）

家計状況の見直し、  
債務整理後に  
生活保護の申請へ

地域包括支援  
センターとの  
連携  
（見守り・  
介護予防）

ご自宅に訪問  
息子さんとの接点

民間企業での  
就労体験が実現  
（息子に同行）

社協

CSW

個別支援から地域支援へ  
住民主体の活動（地域福祉）の  
力を生かしながら解決へ向けて  
伴走支援を行う

就労体験で少し自信がついた様子。1回きりではなく、たくさんの企業や施設、農家などと連携し、**さまざまな体験ができる社会参加のネットワークの仕組み**をつくろう！



母親は包括支援センターの紹介で地域の体操の場へ参加。友人もでき生活に活力がでてきた。息子は就労体験した企業で働くことが決まり、親子関係も良くなり笑顔が見られるように。



# 地域支援の一例



居場所づくりの支援  
(孤立しないまちづくり)

地域包括支援センターなど  
他機関との定期連絡会



ひきこもり当事者や家族のための  
家族会や居場所の立ち上げ支援

地域とつながるきっかけ  
子ども食堂のネットワーク

農家や福祉施設、民間企業での  
就労体験のネットワーク など

公的な社会資源と、地域の社会資源の組み合わせが、  
あらゆる課題の解決の1つだと考え、日々奮闘しています。

# しくみづくりの一例としての こだいら不登校・ひきこもり家族会準備会

平成30年度末、ひきこもりの子をもつご家族のための勉強会を実施しました。その後、参加されたご家族を中心に「年齢や背景を一切問わない不登校・ひきこもり家族会」立ち上げに向けた準備会を重ね、令和4年1月現在、コロナの影響で休止を経て、21回を重ね、月に1回継続しています。

一番つらい  
わたしたちの気持ちに  
寄り添ってくれる。

当事者の親の  
プライバシーが  
保たれています。

大学をはじめ、  
専門的支援も  
受けられます。

会の存在  
だけでも  
知ってほし  
い！

参加者の方が  
心の底から  
話しています。

「ああしなければ」  
「こうしなければ」  
といった義務は何  
もありません。

この家族会の存在で  
「みんなそれぞれ同  
じような思いをして  
いるんだな」と感じ  
て救われました。

# ひきこもり・不登校のご本人とのかかわりを通じて 地域活動やしくみづくりにつながるプロセス





# いまある地域活動を、大切にする。

## 【市内でさまざまな活動に尽力されている皆様へ】

- ◆ひきこもり等生きづらさを抱えた方の背景の一つに精神や発達等何らかの障がいがある場合があります。そして、その世帯背景には、介護やひとり親など、年齢や状況が複雑に絡み合っており、特定の制度や窓口だけでは解決が難しい場合も多い状況になっています。
- ◆福祉のまちづくり推進協議会をはじめ、小平市ではさまざまなネットワークがあり、ご本人及びご家族同士はもちろん、支援団体や関係機関も含め、垣根を越えて関心を持ち合うことが第一歩であると思います。そのためには、まずそれぞれの活動を振り返り、知り合って、尊重し合うことがとても大切であると感じています。
- ◆地域の輪の中に、私どもCSWも加えていただけると幸いです。

貴重なお時間をありがとうございました。  
地域で見かけたらどうぞ、よろしくお願いいたします！